

2023年度

事業報告書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

目 次

事業の概要	(1)
Ⅰ. 公益事業	(1)
1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(くにたち市民芸術小ホール)…	(1)
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (くにたち郷土文化館)	(3)
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業 (くにたち市民総合体育館)	(4)
4. 共通公益事業 (総務課)	(5)
Ⅱ. 収益事業等	(6)
1. 付帯サービス事業	(6)
2. その他の事業	(6)
Ⅲ. 管理 (法人管理事業)	(7)
1. 役員及び役員会等に関する事業	(7)
事業の内訳	(8)
1. 自主・共催事業	(8)
(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業	(8)
(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業	(1 4)
(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業	(1 8)
(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業	(2 2)
(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等	(2 2)
(6) 総合評価	(2 4)
2. 指定管理事業	(2 6)
(1) 市民芸術小ホールの利用状況	(2 6)
(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況	(2 8)
(3) 市民総合体育館の利用状況	(3 0)
(4) 有料公園施設等の利用状況	(3 2)
3. 管 理	(3 4)
(1) 役員及び役員会等に関する事業	(3 4)

事業の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民芸術小ホールなど3施設を中心とする管理・運営、諸活動を基本としながら、広く芸術・スポーツによるまちづくりを行っています。

その際、次の3点を重要課題として位置付けました。

- 芸小ホールでは、市民が芸術文化に親しむ機会と場の提供を行う施設として、親しみやすくも優れた芸術との邂逅の場であることを目指します。新型コロナウイルス蔓延の影響で分断されがちとなった人と人のつながりを芸術文化面から担うことや、アーティストへの活動機会提供を心掛けながらホール運営にあたります。

具体的には市民とアーティストが芸小ホールを通じて芸術文化活動にともに取り組むしくみとして、アウトリーチやワークショップなど「参加型事業」を積極的にとりいれます。その際、様々な立場や特性をもつ市民との接点をできる限りつくることを意識します。

また、芸術性の追求を掲げ、芸小ホールのサイズや可変式舞台の構造などを活かし創作につとめます。その作品を市外で上演し注目を集めることで施設の活性化や経済性の向上に寄与します。

さらに、共催形式や助成金等の活用で積極的な事業運営へとつなげます。

- 谷保天満宮、旧本田家住宅、旧国立駅舎、古民家などに代表される市内に現存する有形・無形の歴史的文化的遺産は、市民が国立市に強い誇りと愛情を感じる気持ちを育む重要な要素の1つです。これらの歴史的文化的遺産の適切な保護と活用は郷土文化館を中心に行い、将来にわたって市民共有の財産として守っていきます。

また、地域に貢献する郷土文化館を目指すため、専門職員としての学芸員の専門性を活かし、くにたちの歴史、文化、環境等を啓蒙、啓発するための企画展示、資料収集、講座事業等を行います。また、参加型の事業を充実させ、利用者の調査、研究等に対応できるよう生涯学習活動の支援を行います。

このような視点を持ちながら、2023年度は以下のような事業を展開しました。

- 市民総合体育館では、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」の目標の達成のため、また、スポーツ庁の第3期スポーツ基本計画をもとに、誰もがスポーツの楽しさや喜びを味わい、さらに人々と共有することで、健康的な生活が送れるよう、1. 健康づくりのスポーツ事業の充実、2. スポーツ及びレクリエーションの普及事業の充実、3. 親と子どものスポーツ体験事業の充実、4. 小中学生スポーツ体験事業の充実、5. 共催事業の充実、6. 関係機関との連携の6つの運営概略を示し事業を展開していきます。

このような視点を持ちながら、2023年度は以下の事業を展開しましたが、体育館が新型コロナウイルスのワクチン接種会場となったため、2つの自主事業が中止となりました。

I. 公益事業

1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

（くにたち市民芸術小ホール）

○館内利用者数 52,767人（目標数68,000人）

ア. 芸術文化事業

芸小ホールでは、芸術環境創造事業8事業、芸術振興事業18事業、その他8事業の、

計34事業を実施しました。諸般の事情により実施中止とした事業があった反面、計画外実施した事業もありました。主催共催別では主催17事業、共催17事業を実施しました。

(ア) 芸術環境創造事業

教育や福祉の見地を含め、地域の芸術的人材・団体の協力を得て事業を行いました。

①教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

多摩地域の文化拠点をつないでいる芸術団体・たちかわ創造舎による全世代向け演劇公演は9年目となりました。文化庁文化芸術振興費補助金（アートキャラバン）助成を受け、子どもたちへの美術・演技ワークショップを実施し上演参加を行いました。「富士見台ものがたり」は市民ワークショップで富士見台に関わる「ことば」を集め、次年度以降に計画している市民との創作ダンス作品の台本作りの第一歩としました。

②学校教育との連携事業

国立音楽大学協力事業の「くにたちデビューコンサート」は、同学出身のピアニスト企画により2台ピアノ演奏会と、世界的にも珍しい構成である2台ピアノ+電子オルガン演奏会の2回開催しました。芸小ホールの可変式舞台を活用しサロンコンサートの雰囲気漂う、演奏者と観客の距離感を近づける演出としました。

また4年目となる（一財）地域創造の音楽活性化支援事業ではヴァイオリンとピアノによるコンサートと市内小学校および矢川プラスで計5回のアクティビティを実施し、子どもたちや地域の人々とクラシック音楽の接点を創出しました。

③地域の芸術文化資源を活用した学び・体験事業

市内および近隣在住の講師による市民一芸塾では青森県津軽地方に伝わる「こぎん刺し講座」と様々な書体を扱う「書道講座」を開催し、講師・参加者双方が学びあい交流する場をつくりました。こぎん刺しでは受講生たちがサークルを立ち上げ、書道では講師が開講している教室への参加希望があり、いずれも活動の継続がみられます。

(イ) 芸術振興事業

国立市文化芸術条例を踏まえ、誰もが文化芸術に親しみ、より深くかかわりを持つ機会を提供するとともに、鑑賞と交流の拡充を図る事業を行いました。

①芸術文化の創造事業

芸術の真髄である「創造」を行える施設を目指し、出演アーティストやクリエイターと協働しながら事業を展開しました。人が集う劇場の楽しさをアーティストとともに探り作品創作へつなげる芸小クリエイションシリーズ、国立市出身の世界的に著名な作家・多和田葉子氏戯曲の公募市民による演劇公演、若手演奏家育成を図るinc.プロジェクト等を実施しました。採択2年目となった文化庁「文化芸術による子供育成推進事業－学校巡回公演事業－」では、芸小創作の音楽劇を離島等の小学校・特別支援学校で上演し、外部からの評価を高めることとなりました。

②芸術文化の継承事業

例年開催の東京都歴史文化財団（東京文化会館）との共催による「フレッシュ名曲コンサート（室内楽）」を引き続き実施したほか、同財団主催事業「東京ネットワーク計画」を初めて実施し、東京文化会館との連携を深めることでクラシック音楽分野の充実に努めました。「ホール寄席」では、「すたじお寄席」の新旧レギュラーメンバーのほとんどが集結し、落語事業同士の連携と継続がみられました。また国立市が発行する「国立新書」では芸小ホールのこれまでの歩みと現状について書下ろし、今後の事業展開やPRに寄与する貴重な資料となることが期待されます。

③芸術文化の交流・支援事業

「スタジオコンサート」は幅広い音楽のジャンルを取り上げ、客席との一体感ある親しみやすいコンサートとして芸小定番事業となっています。「ケイコ・ボルジェソン ジャ

ズライブ」は市内の自治会・青柳中央会に周年記念として協賛いただき、北欧で長年活躍してきたアーティストの演奏を地域ぐるみで楽しめるライブとなりました。「すたじお寄席」は、初期レギュラーの最後の一人が真打昇進決定となり、「くにたちのお客さん」が成長を見守り応援する会となっています。

「ランチタイムコンサート&ステージ」、「イブニングコンサート」はコロナ禍対応であった整理券制を廃止しました。出演者への演奏機会の提供と市民が様々な音楽・ステージを気軽に日常的に楽しめる事業として定着しました。

(ウ) その他

①自主事業、連携事業企画調査事業

各事業担当者の専門性を高めるため、他館での事業視察や研修に積極的に参加しました。

②実行委員会参画事業

定番の「くにたち音楽祭」、「吹奏楽フェスティバル」、「ファミリーフェスティバル」、「わくわく子どもフェスタ」はいずれもコロナ禍前の状態にほぼ回復し実施されました。それぞれ実施に向け検討を重ね、市民による自主的な活動としての本分が果たされました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2023年度の市民芸術小ホールの施設利用件数及び利用料収入総額については、前年度と比べて利用件数で約5%減の1,424件、利用料収入額は約3%減の17,055,260円となりました。利用件数減の主な要因は、前年度に比べ保守・修繕による施設閉鎖日が増加したこと、社会的な経済状況の悪化から各利用者による経費削減の動きが見られること、文化芸術活動がコロナ禍明けで増加し利用機会が他館等に分散されたことなどが考えられます。施設の老朽化に伴う修繕費は2023年度も増加傾向にあり、不測の事態への対応体制も求められています。今後の大型修繕については、国立市と計画的な実施に向けて協議していきます。

2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）（くにたち郷土文化館）

○館内利用者数 20,170人（目標数25,000人）

郷土文化館では、自主事業34、共催事業3の合計37事業を実施しました。

事業内容は、常設展示事業3、企画展示事業3、資料収集・調査・研究事業7、講座事業9、市民が参加及び体験する事業として、郷土の伝統文化を学ぶ体験事業12、郷土の自然環境を学び体験する事業3となっています。

ア. 郷土文化館事業

(ア) 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

①展示事業

陶芸サークル6団体で実行委員会を組織し、創作活動の成果を発表する場とともに、ワークショップで実際にマグカップ等の作成体験をして陶芸の魅力を感じてもらおう機会とした「第9回くにたち陶芸展」、国立市内の学校史について、小学校の歴史に焦点をあて、近世の谷保地域の寺子屋・私塾の事例を踏まえ、明治5年1872年の学制公布から翌年の潤沢学舎（現国立第一小学校）開校、大正末期からの国立大学町開発などを経て、昭和53年1978年に国立第八小学校が開校するまでの市内小学校の歩みを、写真や教育関連資料などとあわせて紹介し、国立市内での小学校の歩みと地域資料について広く周知することを目的として企画展示した「くにたちの小学校」、公私立小学校の3年生を対象とした民具案内と連動した企画展「むかしのくらし展」、の計3回の展示事業を実施して延べ約6,900人を超える観覧者がありました。

②講座事業

旧本田家、縄文土器・石棒関連、自然講座「くにたちの植物を観察しよう」等講座事業につきましては、募集人数をコロナ禍以前に戻しての実施となりました。

(イ) 市民が参加及び体験する事業

①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

伝統行事など、市民が主体になり楽しむ事業を展開しました。市内の公立小学校の3年生を対象にした恒例の民具案内は、2023年度も公立小学校8校、私立小学校3校の合計11校行い、726人の児童生徒を迎えることができ、冬季企画展「むかしのくらし展」の見学と合わせ、郷土の歴史と民俗を体験的に知る機会としました。わらぞうり作り、しめ縄作り、十五夜だんご作り、ひし餅作りについては、募集人数をコロナ禍前に戻して実施しました。

②郷土の自然環境を学び体験する事業

市内NPOの協力をいただき、主に小学生を対象に、体験や観察を主体とした「くにたち自然クラブ」事業等を実施しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2023年度の郷土文化館の入館者数は20,170人で2022年度と比較して1,432人、6.6%の減となりました。また、2023年度の古民家の見学者数は7,995人で2022年度と比較して2,031人、20.3%の減となりました。2022年度は、全国にコレクターのいるマンホールカードの配布が2023年1月から開始されたことが大きく寄与していましたが、2023年度はそれが落ち着きました。古民家の減は、2022年度に実施された「駅からハイキング」（5月）「くにたちウォーキング」（10月）のような集客力のあるイベントのルートに入らなかったことで集客数が伸び悩んだものと思われれます。

郷土文化館・古民家の施設・設備等の利用料収入は、2023年度は1,112,800円で2022年度と比べ47,500円、4.1%の減となっております。なお、市主催事業の減免措置については、9.4%の増となっております。事業収入等の状況は、2023年度は732,940円で、2022年度と比べ47,610円、6.9%の増となっております。

ウ. 市内遺跡整理調査業務受託事業（定款第4条第5号）

市内遺跡整理調査業務受託事業として、国立市から2022年度に実施された市内遺跡緊急調査の整理及び報告書の作成業務及び2023年度中に実施される緊急発掘調査に必要な知見を得るための発掘調査補助を受託し、実施しました。

3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業（定款第4条第3号）

（くにたち市民総合体育館）

○館内利用者数 159,902人（目標数210,000人）

ア. スポーツ及びレクリエーション事業（定款第4条第3号）

総合体育館では、自主事業が20事業60回、共催事業が4事業5回で合計24事業65回を企画しました。しかし、体育館が新型コロナのワクチン接種会場となったため、自主事業が2回中止となりました。

このような中、自主事業の小学生夏休み水泳教室は、以前は小学校の屋外プールで夏休みに実施していましたが、雨や酷暑で中止になることが多かったことから、現在は財団主催で会場を総合体育館に変え水泳教室を実施しております。毎年定員を超える申込があり、大変好評でした。

また、みるスポーツとして、2023年度に新たに国立プロスポーツ観戦DAYという事業を立ち上げ、プロスポーツ選手（サッカー）のプレーを味の素スタジアムで観戦し、定員を超える応募の中、スポーツの普及・振興を図りました。

共催事業のくにたちファミリーフェスティバルは、新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催になりましたが、当日は晴天に恵まれ、多くの方が参加されました。スポーツやゲームなど24コーナーを設け、子どもたちを中心として家族と一緒に楽しんでもらいました。

小学生初心者水泳教室では、泳げない小学生を対象に、泳げるようになることを目的に実施しておりますが、毎年定員を超える申込があり、今年も大変好評でした。

くにたちウォーキングは、2023年度は10月9日のスポーツの日に開催し、ウォーキングを楽しみながら健康増進と体力向上に寄与しました。

また、市からデジタル地域通貨1,000ポイントが参加賞として配られることになり、締め切り1週間前には定員に達しましたが、当日は大雨となり、定員450人に対し234人の参加にとどまりました。

2024年3月1日にスポーツ講演会を開催しました。株式会社ヤクルト本社中央研究所から加地留美氏を講師にお迎えし、「腸から整えるカラダとココロ」と題し、脳と腸が互いに影響を及ぼしあう「脳腸相関」について、日頃の研究成果をお話いただきました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総合体育館利用者数（南市民プラザトレーニング室を含む）は個人が90,654人（6,842人、8.2%の増）、団体が62,351人（5,867人、10.4%の増）でした。

2023年度は5月10日から6月2日まで第一・第二会議室が新型コロナワクチン接種事務で使用されたため利用を中止しました。また、9月20日から10月10日までは第三体育室が新型コロナワクチン接種会場となったため利用を中止しました。

1月24・25日と2月7日は、停電を伴う電気設備工事があり、全館臨時休館としました。

総合体育館の個人及び団体利用の利用料収入は30,139,190円で、2022年度と比べて1,108,845円、3.5%の減収でした。

有料公園施設等の利用状況は、3箇所あるテニスコートは、25,287時間、利用率は68.46%、3箇所の野球場は、7,304時間、利用率は54.0%、サッカー場は、1,706時間、利用率は、46.7%でした。利用料収入は、テニス、野球、サッカーの合計で、17,227,375円で、2022年度と比較して1,554,575円、8.3%の減収でした。

ウ. 学校開放受付業務受託事業（定款第4条第5号）

国立市立小・中学校（11校）の体育館と校庭の施設開放事業を国立市から受託して行いました。

エ. 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業（定款第4条第5号）

国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を国立市から受託し、40歳から65歳の市民を対象として健康増進に寄与しました。利用者数は延550人となり、2022年度と比べて116人、26.7%の増になりました。

4. 共通公益事業（総務課）

ア. 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）

市民団体等からの申請に基づき、助成選考委員会にて厳正な審査を行った結果、市民団体が実施している事業で、広く市民に公開している「塞ノ神どんど焼き」などの事業に助成しました。

・助成団体 6団体 ・助成金額 970,000円

イ. 財団広報紙「オアシス」の発行等事業（定款第4条第7号）

各館の事業を中心に、年6回隔月に財団広報紙「オアシス」を発行し、市内全世帯に配付するとともに、広く財団の事業内容などをお知らせするため、ホームページに掲載しました。

ウ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総務課は各館の指定管理事業に関わる予算編成、予算執行管理等を適正に行いました。

II. 収益事業等

1. 付帯サービス事業（定款第4条第2項）

ア. チケット販売事業

市民芸術小ホールを借りて利用する団体等から受託し受託販売手数料を得て、音楽・演劇等のチケットを販売しました。

・2023年度の受託団体数 2団体（2件） 受託販売手数料 3,300円

イ. 飲料水等販売事業

①市民芸術小ホール来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・2023年度の販売額 313,975円 ・販売数 7,420本

②郷土文化館来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・2023年度の販売額 79,767円 ・販売数 1,757本

ウ. グッズ等販売事業

郷土文化館来館者への付帯サービスとして、特別展等で販売した記念グッズ（手ぬぐい、バッジ等）を中心に関連商品を販売しました。

・2023年度の販売額 329,500円 ・2023年度末棚卸額 956,052円

エ. 体育用品の販売事業

総合体育館の施設利用者への付帯サービスとして、ピンポン球、バドミントンシャトル、水泳帽、ゴーグルのスポーツ用品を販売しました。

・2023年度の販売額 303,050円 ・2023年度末棚卸額 67,025円

2. その他の事業

ア. 公益事業外の施設貸与事業

市民芸術小ホール施設及び市民総合体育館の施設利用について、国立市との協定に基づき、その他の施設貸与事業として学校等の卒業式等及びくにはたちの集い等への貸付を行いました。

Ⅲ. 管理（法人管理事業）

1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第7号）

理事会、監査、評議員会を、定款に基づき開催しました。

- ・理事会 4回
- ・評議員会 3回
- ・中間監査 1回、決算監査 1回

以上が、2023年度公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の事業の概要です。

今後の財団運営に当たっては、市民参加の事業展開を図り、効率的な経営を目指して、一層の努力をしてまいります。

事業の内訳

1. 自主・共催事業

(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

〔市民芸術小ホール〕（決算額 40,226,934円）

ア. 芸術環境創造事業

① 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

実施事業 通し番号	報 事業名	開催形態	実施日・期間
○ 1	芸術文化で地域と福祉をつなぐライフステージ事業 にじゅうまるシアター（①「おやゆび姫」2公演 ②「ハーメルンの笛吹き」1公演）	自主	①7月16日 ②1月20日
○ 2	ダンスでえがく！つなぐ！「富士見台ものがたり」ワークショップ（旧：新・放課後ダイバシティダンス）	自主	1月31日 ・ 3月2日
● 3	誰もが楽しめるジャズコンサート ①「納谷嘉彦トリオ」 ②「川口信子ニューヤングトリオ」	共催	①11月7日 ②12月20日
4	（仮称）くにたちアートプロジェクト事業	共催	通年

② 学校教育との連携事業

5	【国立音大連携事業】くにたちデビューコンサートvol.16 ①ショパン×モーツアルト 176鍵で奏でる2台ピアノのハーモニー ②2台ピアノ×電子オルガンが奏でるコンチェルトの調べ	自主	①1月12日 ②3月9日
6	【市内学校等との連携事業】公共ホール音楽活性化支援事業 『石上真由子 江崎萌子M&M Violin × Piano DUO』 （コンサート1回、アウトリーチ4回）	自主	アウトリーチ 9月5・6日 公演9月9日
7	三中OB吹奏楽団 創立30周年記念公演	共催	12月17日

③ 地域の芸術文化資源を活用した学び・体験事業

8	市民一芸塾 ①「小ぎん刺し」と津軽文化に触れる講座 ② 基礎から学ぶ書道講座	自主	①7/3・10・17 ・24・31 ②1/30・2/6・13 ・20・3/5
9	野外彫刻展受賞者個展	自主	実施せず

イ. 芸術振興事業

① 芸術文化の創造事業

10	MUSIC DAY IN KUNITACHI 2023 三善晃10周年忌事業	共催	①11月3日 ②11月4日
11	鼓童交流公演2024（2回公演）	共催	3月16日
● 12	多和田葉子 複数の私vol.06 演劇公演『夜ヒカル鶴の仮面』	自主	9月22日

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 人(定員)
舞台芸術に親しむ公演として、たちかわ創造舎を拠点とする劇団のファミリー向けレパートリーを上演しました。(公社)全国公立文化施設協会を通じ、文化庁文化芸術振興費補助金(アートキャラバン)助成を受けました。	大人1,000 3歳~中学生 500	①58 ②88
2019~2021年度アーツカウンシル東京共催事業として実施した同事業を継続したいとしてその実施方法について検討しました。これまで文化面からのアプローチがなかった富士見台に注目しダンスを通じてその文化を表現するため、まずは2回のワークショップを開催しました。	0	17
だれもが気軽に音楽を楽しめる機会を創出することを目的に実施したジャズライブ。国立市教育委員会共催。	500	①66 ②69
新たにアーツカウンシル東京と連携し、「国立市文化芸術推進計画」の基本理念に沿って市内外のような主体が連携、協働し、芸術文化を通じた人々の活動や交流を促進する拠点づくりを進めました。	0	3,180

国立音楽大学協力で、次代を担う若手音楽家に発表とオリジナル企画実践の機会を与える育成支援事業を行いました。9分割できる舞台面を活かし演奏者のすぐ後ろに客席を設置しました。また3月公演は2台ピアノと電子オルガンという世界的にも珍しい編成での演奏を行いました。	一般2,000 学生1,000 2公演共通券 3,500	①57 ②126
地域ホールの活性化と音楽分野における創造的な芸術環境づくりをめざし、音楽家による地域でのアウトリーチを5回(三小4年生3クラス、四小4年生2クラス、矢川プラス)、ホールでの演奏会を行いました。(一財)地域創造助成。	一般2,000 中学生以下 500	アウトリー チ177 公演143
当ホールの事業でもたびたび活動を行っている市内の吹奏楽団の周年記念として財団共催とします。同楽団との共催ですが施設(ホール他)利用料の収益がありました。	0	350

地域の専門家による、市民向けの造形や実演の文化芸術講座。今年度は青森県津軽地方出身の振付家・ダンサーによる郷土伝承の刺繍講座と、様々な書体による書道の教室を開講しました。	2,000	①12 ②15
くにたちアートビエンナーレ2015野外彫刻展大賞受賞作家による個展を開催予定でしたが、コロナ禍の影響で作家の希望により延期としました。	0	—

世界的打楽器奏者・加藤訓子氏主宰の若手演奏家育成事業。演奏会(有料・無料)やワークショップなど複数のイベントを実施。②作曲家・三善晃の作品に挑む新たなプロジェクトの立ち上がり。著名なダンサー・中村恩恵と加藤氏共演の「鍵」(谷崎潤一郎作)、向笠愛里ソプラノリサイタルも同時上演。	ONE DAY PASS 3,000 ALL DAY PASS 5,000	①70 ②130 他体験60
毎年恒例となった和太鼓アンサンブルのリーディングカンパニー鼓童若手奏者による地域交流公演。	おとな3,500 3~18歳(高校生)1,000	①170 ②150
国立市出身の世界的小説家・多和田葉子の戯曲を公募で選ばれた市民16名で上演。芸術文化振興会の助成を受けました。	一般3,000 学生2,000	200

●	13	芸小ステージクリエイションⅤ 『海のツブ』（4回公演）+四日市公演	自主	①②5月27日 ③④5月28日 ⑤1月14日
	14	文化庁巡回公演事業「小さな劇場 太陽のタネ」	共催	①7/17-19 ②12/13-16 ③12/19-22
	15	くにたちオペラ「あの町は今日もお祭り」伝承事業 日本演劇学会発表	共催	実施せず

② 芸術文化の継承・普及事業

	16	フレッシュ名曲コンサート（室内楽） 「中秋に贈るトロンボーン三重奏の響き」	共催	10月15日
○	17	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席 その12（小学生、中高生 2コース）	自主	①7月31日 ②8月1日
	18	くにたち市民オーケストラ 2024年ニューイヤーコンサート	共催	1月14日
●	19	①伝統芸能講座「（ジャンル未定）」 ②地域の伝承芸能事業	自主	実施せず
●	20	国立新書「小さな創造」	自主	通年
	21	【計画外】 「新野将之スネアドラムワークスVol.1」	共催	10月1日
	22	【計画外】 東京ネットワーク計画 「東京音楽コンクール入賞者による金管五重奏」	共催	11月12日
	23	【計画外】 くにたち芸小ホール寄席「年忘れ すたじお寄席まつり」	自主	12月2日

③ 芸術文化の交流・支援事業

	24	スタジオコンサート(3回) vol.107「マリンバ・コフレ・コンサート」/vol.108「小栗久美子トロンコンサート」/vol.109「ステ鬼な関係～珠玉の名曲で綴るオニの掟」	自主	①6月4日 ②7月29日 ③2月3日
	25	くにたちすたじお寄席 52-54回	自主	①6月11日 ②9月10日 ③3月3日
●	26	ケイコ・ボルジェソン ジャズライブ	自主	4月29日
○	27	ランチタイムコンサート・ランチタイムステージ（計10回）	自主	4/19, 5/17, 6/21, 7/19, 9/20, 10/18, 11/15, 1/17, 2/21
○	28	イブニング・コンサート（計2回）	自主	8/16、12/20
	29	ホールとグランドピアノのシェアプログラム（計2回）	自主	4/11・12 5/9・10

ウ. その他

アーティストとアイデアを出し合いながら、地域の文化施設がつくる舞台作品を育てるシリーズ。少年の海での旅をダンサー1名による踊りと美術仕掛けで語りました。また、三重県四日市市文化財団において買取公演として上演されました。（公財）全国税理士共栄会文化財団助成。	おとな2,000 大学生まで1,000 2歳～小学生500	①11②7 ③30④27 ⑤28
文化庁事業である「巡回公演」に採択され、①長崎県対馬 ②鹿児島県種子島 ③香川県善通寺市、高知県高知市、愛媛県大洲市 全7つの小学校および特別支援学校を訪問しワークショップと公演を実施しました。	0	499
2022年度制作のオペラを普及させるため、日本演劇学会でのシンポジウム発表に参加予定でしたが、学会が設定したテーマにオペラを組み込むことができず不参加となりました。	0	—

大変に珍しいトロンボーン3人による演奏会。地域住民がクラシック音楽に親しむ機会づくりと、新進演奏家を支援することを目的として開催しました。	一般2,000 学生1,000	267
今年で12回目、すたじお寄席出身のらく次師匠による落語講座を開催しました。リピーターも含めた参加者は事前に配布したテキストから好きな噺を選び、一人ひとり稽古を付けた後で発表しました。	参加800 見学500	①37 ②7
毎年恒例となつたくにたち市民オーケストラによる管弦楽の名曲コンサート。市内から多くの来場者が訪れる人気の演奏会となりました。	1,000	256
①企画立案の調整がつかず中止としました。 ②谷保天満宮の神楽で笛を担当する市民による、笛製造のワークショップを企画しましたが、材料を集められず中止としました。	0	0
国立市が年1冊発行する書籍で芸小ホールの歩みと市民との協働などを紹介しました。SARTRAS（一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会）への助成申請（申請額3,050,000円）を行いました但不採択となり、市の予算内で実施しました。	0	—
inc. percussion days、巡回公演「太陽のタネ」等に出演し、近年評価が高まっている打楽器奏者によるデビュー10周年演奏会。	一般3,000 学生2,000	99
東京都、（公財）東京都歴史文化財団 東京文化会館が若手支援に力を入れている文化施設・芸術団体と繋がり、若手アーティストとお客様との出会いを結び取組みとして開催するアフタヌーン・コンサート。	500	189
2006（平成18）年に始まったくにたちすたじお寄席の新旧レギュラーメンバーがほぼ勢ぞろいしての落語会。協賛：銀星交通	3,000	94

音楽を身近に親しみやすく体験するコンサート。（107回）3人による2台マリンバ演奏（108回） トルン（ベトナム竹琴）とヴァイオリン/ピアノの演奏（109回）声楽家4名による、オリジナルストーリーに名曲を組み合わせた演奏 と多彩な音楽を提供しました。	2,000	①37 ②60 ③52
真打ち昇進を目指す若手落語家の話芸を披露し、若手の成長を応援する定例落語会を引き続き開催しました。	1,500	①70 ②60 ③70
軽音楽枠として設定。北欧で長年活躍してきたジャズヴォーカリスト・ピアニストによるエンタテイメントライブ。協賛：青柳中央会	500	168
入場無料、客席数制限で公益事業として開催。公募で選ばれた出演者による実演（おもに音楽）を披露しました。	0	554
8月と12月に上記事業を夕方に移して開催しました。	0	80
ホール利用の予約が少ない平日に、ホールとコンサートグランドピアノの利用を1時間単位で分かち合う利用体験事業を、利用促進事業として実施しました。	2,000	35

① 自主事業、連携事業企画調査

○	30	スタッフ・ディベロップメント事業	自主	通年
○	31	地域連携、公文協、地域創造等連携交流事業	自主	通年
○	32	その他事業 (オアシス、助成、消火栓広告、くにたちポイント)	自主	通年

② 実行委員会参画事業

	33	第46回 くにとち音楽祭	共催	6月18日
	34	第29回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月24日
	35	第30回ファミリーフェスティバル (ファンファーレ、春風コンサート、呈茶)	共催	5月5日
	36	ギャラリーネットワーク連携事業 美術講座「国宝『源氏物語絵巻』を読み解く《絵巻物の魅力》」	共催	7/12・19・26
○	37	第11回 わくわくこどもフェスタ	共催	2月18日

○ こどもおすすめ事業 ● 新規事業

職員が、接遇、企画力、コーディネート力の育成を図る目的で、講座・研修事業へ参加しました。	0	-
市と共催で行う音楽会や公文協支援員派遣事業による研修、中核的劇場などで行われる研修や交流事業に参加する等、事業連携等の試行事業を行います。	0	-
助成金交付事業、財団広報誌オアシス等の宣伝業務、芸術文化情報の発信事業を行いました。	0	-

参加団体で実行委員会を組織して運営し、市内で活動する様々な音楽団体による、合同発表公演を開催。15団体が参加しました。	0	492
参加団体で実行委員会を組織して運営し、小～高の吹奏楽団体による合同発表公演。6団体が参加し、一般観客を入れての開催となりました。	0	542
コロナ後4年ぶりに開催。国立三中OB吹奏楽団による毎年好評の吹奏楽「春風コンサート」は、鑑賞者の事前募集制で開催しました。	0	503
市内で営業している画廊の連絡協議団体が、市民向け公益事業として美術講演会を開催しました。コロナ禍を経て4年ぶりとなりました。	0	164
立川子ども劇場国立支部などが実行委員会を組織し子ども向けの様々な事業を行いました。	0	1,105

(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）

〔郷土文化館〕（決算額 26,939,485円）

ア. 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、展示、普及のための事業

① 展示事業

・ 常設展示

実施事業 通し番号	報 業 名	自主・共催	実施日・期間
○ 1	くにたち郷土文化館常設展示	自 主	通 年
○ 2	ハケと生きもの展示	自 主	通 年
○ 3	施設及び周辺環境整備事業	自 主	通 年

・ 企画展示

● 4	共催企画展 「第9回 くにとち陶芸展」	共 催	5月20日～6月18日
● 5	秋季企画展 「くにたちの小学校」	自 主	10月28日～12月10日
○ 6	冬季企画展 「むかしのくらし展」	自 主	1月12日～3月10日

② 資料収集・調査・研究事業

7	資料活用及び保存に伴う調査・研究・修復事業	自 主	通 年
8	地域資料の整理	自 主	通 年
9	収蔵資料の整理	自 主	通 年
10	資料のデジタル化事業	自 主	通 年
11	図書等の資料整理	自 主	通 年
12	地域資料等の購入・収集及び調査・研究事業	自 主	通 年
13	調査・研究等の書籍刊行事業	自 主	通 年

③ 講座事業（教育・普及事業）

● 14	陶芸展関連イベント「こども陶芸教室」	自 主	4月23日・5月14日
● 15	陶芸展関連イベント「おとな陶芸教室」	自 主	4月23日・5月14日 6月3日・6月24日
● 16	自然講座「くにたちの植物を観察しよう - フィールドワーク入門 -」	自 主	9月30日
17	地域文化・郷土資料の紹介	自 主	通 年
18	ガイドツアー	自 主	通 年
19	学習支援事業	自 主	7月22日～8月25日 10月18日～10月20日
20	冬季企画展関連音楽鑑賞事業 「蓄音機でレコードを聴いてみよう」	自 主	3月2日

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
「多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たち」をテーマとした常設展示を行いました。	—	延 20,170
ハケ下の水路や府中用水の生きものを廊下水槽にて展示しました。	—	延 20,170
来館者が地球温暖化や省エネについて考えるとともに、くつろげる空間づくりを施設整備（ハード）、職員の接遇（ソフト）の両面を行いました。	—	—

郷土文化館の陶芸窯を利用している6団体が実行委員会を組織し、様々な陶芸作品を展示し、創作活動の成果を発表しました。 共催：陶芸展実行委員会	—	延 1,506
現在国立市内にある公・私立小学校全11校が開校するまでの、国立市内の小学校の歴史について、写真や教育関連資料とともに紹介しました。	—	延 2,122
昔のくらしの中で使われてきた館所蔵の民具を展示し、昔のくらしや道具についての知識を深める機会としました。	—	延 3,277

将来の企画展示に向けての準備として、国立市に關係する資料の収集及び調査・研究及び資料の修復を行いました。	—	—
新たに寄贈された資料（美術品、写真、民俗資料等）の整理を行いました。	—	—
収蔵庫の民具資料を再調査し、収蔵庫の整理を行い目録化を図りました。	—	—
館収蔵の紙資料や市役所広報担当移管写真等のデジタル化、情報入力 of 促進を図り、一部をホームページ等で紹介しました。	—	—
中央図書館との検索システムをネットワーク化するためのデータベース作業等を行いました。	—	—
地域資料の購入を含めた収集活動及び地域史に関する調査・研究を行いました。	—	—
郷土文化館の活動成果を公開するため、年報を刊行しました。	—	—

小学1年生～中学3年生までを対象に、手びねりでのマグカップ作成体験を行いました。 指導：陶芸展実行委員会	500	14
高校生以上を対象に、手びねりでの陶芸作品作成体験を行いました。 指導：陶芸展実行委員会	1,000	13 22
くにたちに生息する植物や観察方法について、座学とフィールドワークから学ぶ講座を開催しました。 講師：仙仁径（パルテノン多摩ミュージアム学芸員）	300	15
くにたちに関する歴史・民俗・自然などの情報発信や、当館所蔵資料を紹介するため、当館企画展開催以外の期間や夏休み期間中において、各種展示や講演会、ワークショップ、アウトリーチ活動などを適宜実施しました。	—	—
来館者に向けて展示解説や散策ガイドなどを行いました。	—	—
学芸員実習や中学生職場体験など、学校教育の支援を行いました。	—	4 3
冬季企画展「むかしのくらし展」関連事業として、郷土文化館に収蔵されている蓄音機でSPレコードを鑑賞しました。	—	延 35

●	21	講演会 「下谷保・本田家の医療活動」	自 主	3月9日
●	22	講演会 「くにたちの縄文時代 - 顔面把手と大形石棒を中心に -」	自 主	3月24日

イ. 市民が参加及び体験する事業

①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

実施事業 通し番号	事 業 名	報	
		自主・共催	実施日・期間
23	国立市古民家の公開と展示事業	自 主	通 年
24	小学生民具案内 (全11校)	自 主	1月18日～3月7日
○	25 伝統行事 五月人形・鯉のぼり飾り	自 主	4月22日～5月7日
○	26 伝統行事 七夕飾り	自 主	6月24日～7月7日
27	わら細工教室 わらぞうり作り	自 主	7月15日
28	古民家事業 十五夜だんご作り	自 主	9月10日
29	伝統文化体験事業 干支の折り紙教室「辰」	自 主	12月3日
30	わら細工教室 しめ縄飾り作り	自 主	12月9日
31	伝統行事 まゆ玉飾り作り	自 主	1月14日
○	32 伝統行事 節分・豆まき	自 主	2月3日
○	33 伝統行事 ひな人形飾り	自 主	2月10日～3月13日
34	伝統行事 ひし餅作り	自 主	2月18日

②郷土の自然環境を学び体験する事業

○	35	くにたち自然クラブ (全7回)	共 催	6月18日～12月10日
○	36	天体観測 冬の星空ウォッチング (全3回)	自 主	11月4日・1月19日 ・2月17日
○	37	自然観察会 冬の生き物探し	共 催	1月28日

○ こどもおすすめ事業

● 新規事業

地域医療に従事した、本田家の村医者としての側面に焦点を当て、本田家旧蔵資料などの資料とともに、本田家歴代当主の医療活動について講演頂きました。 講師：長田直子（国立市文化財保護審議会委員）	—	43
南養寺遺跡出土顔面把手付土器や、緑川東遺跡出土大形石棒などの考古資料について、縄文時代の儀礼祭祀を研究する専門家に講演頂きました。 講師：中村耕作（国立歴史民俗博物館准教授）	—	64

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
国立市有形民俗文化財の復元民家旧柳澤家を一般に公開するとともに、農具等の資料を展示しました。	—	延 7,995
市内公私立小学校全11校3年生を対象に当館収蔵の民具資料を使い、昔の暮らしを体験してもらいました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	—	726
伝統行事の一環として、端午の節句を中心に、収蔵資料の五月人形を展示し、古民家隣地に鯉のぼりを掲揚しました。	—	延 1,616
郷土文化館、古民家、城山さとのいえで短冊に願いを書き、笹竹につるす行為を通して、年中行事に対する親近感を醸成し、その理解を深めました。	—	延 1,028
くにたちの暮らしを記録する会々員より提供された稲わらを使用し、わらぞうりを作ることで、谷保地域の伝統文化を体験しました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	600	16
秋の草花、収穫物、だんごを一緒に飾り、農作物の収穫に感謝する伝統行事について、十五夜だんごの作成体験を古民家で行いました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	300	24
和紙で2024年の干支「辰」を制作することにより、日本の伝統文化「折り紙」の体験を行いました。 講師：川島操（折り紙インストラクター）	1,000	16
くにたちの暮らしを記録する会々員より提供された稲わらを使用し、正月用のしめ縄飾りを作ることで、谷保地域の伝統文化を体験しました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	800	8
養蚕の豊作を祈願し行われていた、「まゆ玉飾り」を作る体験を古民家で行いました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	300	14
豆をまき邪気を払い、福を招くことで、新しい一年に災いが無いようにと、昔ながらの節分行事を体験しました。	—	170
豪華な段飾りの雛人形を展示し、郷土文化館や古民家を訪れる人達に日本の風習や工芸の美しさを味わってもらいました。	—	延 3,683
ひなまつり（桃の節句）のひな人形のお飾り「ひしもち」を、古民家でもち米からひし形に切り、飾り付ける一連の過程を体験してもらいました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	600	18

国立市内小学生2～6年生を対象に、生きものや自然の観察など様々な体験を通して、自然の大切さを学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	通年参加費 2,000	延 150
郷土文化館武蔵野庭園にて、大型天体望遠鏡を使用し、国立から見える宇宙を観察し、専門家より講話と解説を頂きました。 講師：伊東昌市（元国立天文台）	—	延 109
自然クラブ卒業生を対象としたジュニアリーダー育成講座で、冬季の昆虫など自然の観察方法を学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	100	19

(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

[市民総合体育館] (決算額 21,809,014円)

①健康づくりのスポーツ事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
1	やさしいヨガ ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	5月10日～6月28日 9月6日～10月25日 11月1日～12月20日 1月10日～3月13日
2	初めての気功と健康太極拳 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)	自 主	4月4日～5月23日 5月30日～7月18日 9月5日～10月24日 11月7日～12月26日 1月16日～3月12日
3	太極拳24式・48式 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)	自 主	4月4日～5月23日 5月30日～7月18日 9月5日～10月24日 11月7日～12月26日 1月16日～3月12日
4	水中リズムウォーキング ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	4月19日～6月14日 9月6日～11月1日 11月8日～12月27日 1月10日～3月13日
5	骨盤調整&エアロビクス ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	4月8日～6月3日 6月10日～7月29日 10月7日～11月25日 1月20日～3月9日
6	楽しいフラダンス ① (6日間) ② (6日間) ③ (6日間)	自 主	4月6日～6月29日 10月5日～12月7日 1月18日～3月21日
7	インターバル速歩 12回	自 主	4月～3月の毎月 第一金曜日

②スポーツ及びレクリエーションの普及事業

8	初心者ゴルフ教室 (12日間)	自 主	4月4日～6月30日
9	レベルアップゴルフ① レベルアップゴルフ② (12日間) (6日間)	自 主	9月1日～12月1日 2月2日～3月19日
10	国立プロスポーツ観戦DAY	自 主	9月23日

③親と子供のスポーツ体験事業

○ 11	親子体操教室 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間)	自 主	5月12日～6月30日 9月1日～10月20日 1月12日～3月8日
○ 12	親子野球教室 ① (1日) ② (1日)	自 主	10月21日 3月2日
○ 13	親子スイミング教室 ① (6日間) ② (6日間) ③ (6日間)	自 主	5月8日～6月12日 11月6日～12月11日 2月5日～3月18日

告 事業内容及び説明	参加費等 (円)	参加者数 (人)
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスさせて心身のリフレッシュと健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	656
	5,000	672
	5,000	668
	5,000	672
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりとした呼吸法を取入れ、足腰を鍛錬し、健康増進を目指した事業を実施しました。 ※体育室がワクチン接種会場として使用されたため③は中止しました。	5,000	329
	5,000	380
	5,000	0
	5,000	385
	5,000	402
中国武術の一派をもとに制定された健康法として、中国政府が編纂・制定した太極拳を学び、健康増進を目指した事業を実施しました。 ※体育室がワクチン接種会場として使用されたため③は中止しました。	5,000	440
	5,000	420
	5,000	0
	5,000	425
	5,000	410
水中を歩いたりストレッチ、ダンス等を行うことにより、浮力を利用し身体全体を動かすなど、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	376
	5,000	373
	5,000	388
	5,000	398
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体作りを目指した事業を実施しました。	5,000	219
	5,000	218
	5,000	249
	5,000	263
音楽に合わせてバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	154
	5,000	128
	5,000	128
「さっさか歩き」と「ゆっくり歩き」を交互に繰り返すウォーキング法の講習会です。毎月第一金曜日に申込不要の自由参加で開催しました。	無料	192

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学ぶため事業を実施しました。	18,000	451
ゴルフの応用的な技術指導とルールを学ぶとともに参加者がレベルアップする事業を実施しました。	18,000	444
	9,000	235
プロスポーツ選手のプレーをスタジアムで観戦し、スポーツの普及・振興を図りました。	無 料	251組 502

親子で一緒に運動することにより動く楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	5,000	50組	100
	5,000	54組	108
	5,000	107組	214
幼稚園の年中から小学2年生までを対象に、プロの指導員により野球を基礎から学ぶ場を提供することにより、運動の楽しさを知ってもらうために事業を実施しました。	無 料	68組	136
		58組	116
親子で水に慣れるとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	4,000	110組	227
	4,000	83組	165
	4,000	61組	123

④小中学生スポーツ体験事業

○	14	小中学生無料開放 (夏休み1回) (冬休み1回) (春休み1回)	自 主	7月26日 12月26日 3月27日
○	15	小学生バドミントン教室 ① (6日間) ② (6日間)	自 主	4月15日～ 6月 3日 11月 4日～12月 9日
○	16	初心者ミニバスケット教室 (1回 2日間)	自 主	8月 2日～ 8月 3日
○	17	小学生高学年テニス教室 (3日間)	自 主	7月31日～ 8月 2日
○	18	小学生かけっこ教室 (8日間)	自 主	5月19日～ 7月 7日
○	19	サッカークリニック (1日間)	自 主	3月 9日
○	20	小学生夏休み水泳教室	自 主	7月31日～ 8月 4日 8月14日～ 8月18日

⑤共催事業

○	21	第33回ファミリーフェスティバル	共 催	5月 5日
	22	第33回くにたちウォーキング	共 催	10月9日
	23	スポーツ講演会	共 催	3月1日
○	24	小学生初心者水泳教室 (高学年、低学年)	共 催	5月10日～ 6月 2日 6月 7日～ 7月 5日

○こどもおすすめ事業

小・中学生を対象に学校の長期休暇期間中、子ども同士や親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツに親しむ事業を実施しました。各種目には指導者を配置しアドバイスをを行いました。	無 料	185 92 111
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サーブ・レシーブ・スマッシュなどバドミントンを基礎から学びました。	2,000	152 138
小学生の初心者を対象に、ミニバスケットのゴールでドリブルやシュートなどの基礎を学びました。	1,000	23
小学4年生から6年生を対象に、サーブ・レシーブ・ボレーなどのテニスの基礎を学びました。	1,000	46
小学生を対象にスポーツイベントを開催し、専門の指導員によりスポーツの楽しさを経験しました。	7,000	188
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより楽しさを知るために事業を実施しました。	無 料	106
以前小学校で行っていた水泳教室は酷暑中止が多かったことから、会場を総合体育館室内プールに変え財団主催で行いました。	1,000	344 349

総合体育館及びその周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催しました。共催：国立市体育協会	無 料	7,377
A：7.5km、S：11.0kmの2コースで実施しました。完歩賞を発行するなど楽しく参加できるようにするとともに、完走後に抽選会を開催し商品を出しました。共催：国立市体育協会 協賛：国立市、(株)ヤクルト本社中央研究所、(株)FSX、カリフォルニア・レーズン協会、(公社)国立市シルバー人材センター	大人 500 子供 200	234
スポーツに携わった関係者等による講演会を開催し、スポーツの普及を図りました。共催：国立市体育協会	無 料	151
泳げない小学生を対象に、泳げるようになることを目的に実施しました。共催：国立市	無 料	193 262

(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）

〔総務課〕（決算額 970,000 円）

ア. 助成事業

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	第9回国立まと火 （国立まと火実行委員会）	7月16日
2	谷保天満宮獅子舞保存 （谷保天満宮獅子舞保存会）	9月23日・24日
3	くにたち映画祭2023 （くにたち映画祭2023実行委員会）	10月21日 ～12月9日
4	第47回塞の神どんど焼 （塞の神どんど焼き実行委員会）	1月8日
5	第33回ダンスコレクション （第33回ダンスコレクション実行委員会）	2月11日
6	立川・国立・国分寺桜デジタルスタンプラリー （国立市観光まちづくり協会）	3月20日 ～4月7日

(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等（定款第4条第7号）

〔総務課〕（決算額 6,090,447 円）

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	財団広報誌「オアシス」の発行事業	4月、6月、8月 10月、12月、2月
2	財団ホームページの管理事業	随時

告 事業内容及び説明	助成金 (円)	入場者数等 (人)
国立市と児童交流を続けてきた北秋田郡合川町（現在北秋田市合川地区）で古くから行われてきた伝統行事の「まと火」を、国立市の夏のイベントとして実施しました。	200,000	1,500
国立市指定文化財「獅子舞」の保存と後継者の育成に寄与しました。	120,000	45
「まちじゅうが映画館」と題して、まちなかの施設や個人カフェ、ミニシアターにて2か月にわたって10作品を上映し、あわせてトークも実施しました。	100,000	1,130
あらかじめ集めた正月飾りを燃やして新型コロナウイルスの終息祈願をしました。地域の伝統行事を絶やさないよう事業を継続しました。	150,000	1,000
ダンスを通して文化・スポーツの諸活動の育成と豊かな発展を目的とした文化・レクリエーションのイベント「ダンスコレクション」を通じてふれあいの場づくり、青少年の健全育成、まちの賑わい創出と地域の活性化を図りました。	300,000	615
立川観光コンベンション協会、こくぶんじ観光まちづくり協会と連携し、それぞれの桜の名所にデジタルスタンプを設定し、スタンプ獲得により回遊性を高め、地域の活性化を図りました。	100,000	未集計

告 事業内容及び説明	事業費 (円)	発行数 (部)
各館の事業を中心に年6回隔月に「オアシス」を発行し市内全世帯に配布しました。 発行部数 毎回約43,000部、4ページ4回、6ページ・8ページ各1回 発行形態 タブロイド判 全頁フルカラー 広告1枠（8センチ×6センチ） 広告収入4社21枠（505,000円）	4,902,447	259,880
ホームページを通して、事業内容、財団の情報を随時更新し、発信しました。	1,188,000	—

(6) 総合評価

(芸術小ホール)

- ・2019年度から始まった新型コロナウイルス拡大の影響はほぼ解消されましたが、市内外でのイベント数増加や同時期への集中が見られ、来場者が分散したと思われまます。
- ・「芸術環境創造事業」では、大学や市内の小学校、地域の芸術団体や個人との協働により事業を実施しました。従前から継続実施の事業についても状況に応じて企画内容を一部変更し、より市民や出演者（団体）との関わり合いを深める環境づくりに努めました。
- ・「芸術振興事業」では、芸術文化の創造と継承・普及、交流・支援を図るための公演、ワークショップ等を実施しました。公募市民による演劇公演や芸術に触れる機会・体験となる各種ワークショップ等により、市民の参画を引き続き促す事業を展開しました。鑑賞型事業であるクラシック、落語事業ではこれまでに積み上げてきた出演者、共催者との関係性を活かした芸小ホールならではの企画としました。芸小ホール創作作品の外部上演についても継続し、より促進できる体制づくりを進めました。
- ・その他、実行委員会参画事業においては、ほぼコロナ禍以前の客席数に戻し実施しました。市民が中心となって運営する意義をそれぞれの委員会内で共有しながら、市民による文化芸術活動の活性化を促進しました。
- ・事業の事前広報、事後報告が充分に行えていません。人員不足を補う工夫と効果的な手段の確立が喫緊の課題です。
- ・外部助成金・補助金の獲得に努め、事業の実施継続性と質向上、アーティストへの的確な待遇に寄与することができました。
- ・施設・設備の老朽化が進む中、市との協議連携を重ねながら修繕・工事を行いました。対応負担額の予測は困難ですが、文化芸術を体験できるホール・劇場としての環境を保ちながらの管理運営に努めていきます。
- ・芸小ホールのコンパクトなサイズ感を活かし、これまで築いてきた市民や芸術家等との関係性を今後も大切にしながら、特徴ある文化施設として今後も事業展開を進めていきます。

(郷土文化館)

- ・くにたち陶芸展ですが、陶芸サークル6団体で実行委員会を組織し、創作活動の成果を発表する場とともに、ワークショップで実際にマグカップ等の作成体験をして陶芸の魅力を感じてもらおう機会といたしました。実行委員会と協議しながら、次世代への継承という観点も含め、同展の今後の方向性を検討したいと考えております。
- ・秋季企画展ですが、国立市内の学校史について、小学校の歴史に焦点をあて、近世の谷保村の寺子屋・私塾の事例を踏まえ、明治5（1872）年の学制公布から翌年の潤沢学舎（現国立第一小学校）開校。大正末期からの国立大学町開発などを経て、昭和53（1978）年に第八小学校が開校するまでの市内小学校の歩みを、写真や教育関連資料などとあわせて紹介し、国立市での小学校の歩みと地域資料について広く周知することを目的として企画展示いたしました。今後も時宜にかなった企画展を継続していきたいと思っております。
- ・むかしのくらし展ですが、民具案内関連展示として実施しました。小学3年生の社会科の授業の内容に合わせている為、内容が例年似通ってしまう部分があるため、このコーナー展示により特色を出しています。今年度は、「しごと場としごと道具」をテーマに展示をおこないました。今後も、コーナー展で変化を見せるとともに、ベースとなっている展示部分に関しても、より充実したものになるよう改善していきたいと考えております。
- ・市内小学校3年生を対象とした民具案内は、毎年、くにたちの暮らしを記録する会の皆さんにご協力をいただいておりますが、今回は、コロナ禍前に戻して会の皆さんと小学生との質問タイ

ムをリモートではなく対面にし、民具体験では、石うすの体験を復活させました。天候により予備日への日程変更もありましたが、全校来館して実施できたことは良かったと思っています。

- ・郷土文化館は、SDGs 目標 4「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」を踏まえ、今後においても資料収集・調査・研究事業、市民が参加・体験事業、及び様々な企画展示及び企画事業を進めていきたいと考えています。

(総合体育館)

- ・2023年度は5月10日から6月2日まで第一・第二会議室が新型コロナワクチン接種事務で使用されたため利用を中止しました。また、9月20日から10月10日までは第三体育室が新型コロナワクチン接種会場となったため利用を中止しました。
- ・1月24日、25日と2月7日は、停電を伴う電気設備工事があり、全館臨時休館としました。
- ・小学生夏休み水泳教室は、以前は小学校の屋外プールで夏休みに実施していましたが、雨や酷暑で中止になることが多かったことから、現在は財団主催で会場を総合体育館に変え水泳教室を実施しております。毎年定員を超える申込があり、大変好評です。
- ・みるスポーツとして、2023年度に新たに国立プロスポーツ観戦 DAY という事業を立ち上げ、プロスポーツ選手(サッカー)のプレーを味の素スタジアムで観戦し、定員を超える応募の中、スポーツの普及・振興を図りました。
- ・くにたちファミリーフェスティバルは、新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催になりましたが、当日は晴天に恵まれ、多くの方が参加されました。スポーツやゲームなど24コーナーを設け、子どもたちを中心として家族と一緒に楽しんでもらいました。
- ・小学生初心者水泳教室では、泳げない小学生を対象に、泳げるようになることを目的に実施しておりますが、毎年定員を超える申込があり、今年も大変好評でした。
- ・くにたちウォーキングは、2023年度は10月9日のスポーツの日に開催し、ウォーキングを楽しみながら健康増進と体力向上に寄与しました。
また、市からデジタル地域通貨 1,000 ポイントが参加賞として配られることになり、締め切り1週間前には定員に達しましたが、当日は大雨となり、定員 450 人に対し 234 人の参加にとどまりました。
- ・2024年3月1日にスポーツ講演会を開催しました。株式会社ヤクルト本社中央研究所から加地留美氏を講師にお迎えし、「腸から整えるカラダとココロ」題し、脳と腸が互いに影響を及ぼしあう「脳腸相関」について、日頃の研究成果をお話いただきました。
- ・しょうがいしゃスポーツを推進・支援するため、東京都等が主催するしょうがいしゃスポーツ関連の講習会・セミナー等の会場を提供し連携を図りました。
- ・有料公園施設は、年末年始(12月29日から1月3日)にテニス、野球、サッカー場の無料開放を行い、利用者の利便性向上、健康増進・体力向上を図りました。
- ・谷保第3公園のテニスコートの人工芝を全面張り替えました。

(総務課)

- ・広報紙「オアシス」発行事業については、より市民に見やすくなることを心掛けて編集しました。オアシスは財団にとって非常に重要な広報媒体でありますので、より親しみやすく、多くの市民に読んでいただけるよう、今後においても編集の創意工夫に努めていきます。ホームページについても、市民にわかりやすく、早急に情報提供できるよう改善を図っていきます。また、財団としての財源確保のため、オアシスへの広告掲載依頼等についても引き続き努力してまいります。

2. 指定管理事業

国立市との協定による施設の管理運営事業

(1) 市民芸術小ホールの利用状況

(ア) 利用料収入

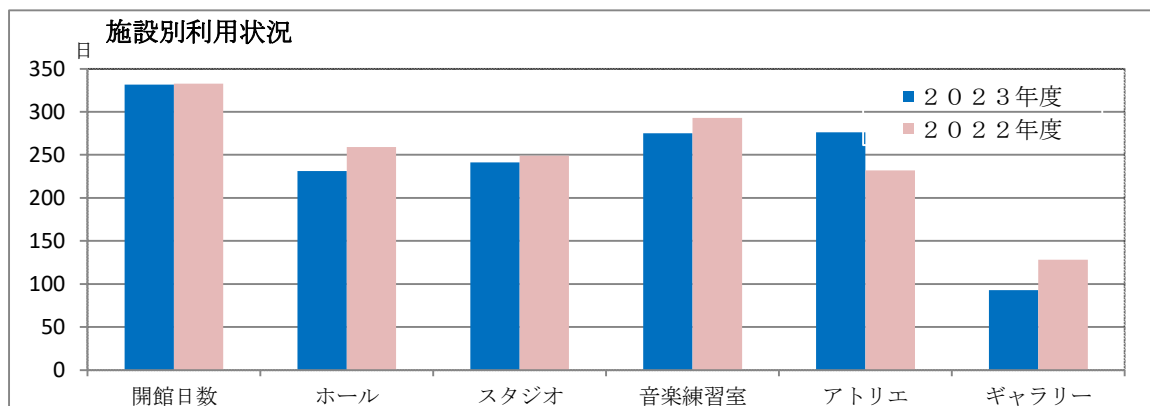
施設名	2023年度			2022年度			増(-)減
	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	
ホール	5,368,400	6,589,730	11,958,130	6,238,840	6,003,850	12,242,690	-284,560
スタジオ	1,582,300	982,620	2,564,920	795,570	1,589,800	2,385,370	179,550
音楽練習室	1,296,000	166,840	1,462,840	1,524,600	168,900	1,693,500	-230,660
アトリエ	591,150	44,220	635,370	449,650	11,500	461,150	174,220
ギャラリー	432,000	2,000	434,000	784,640	16,000	800,640	-366,640
合計	9,269,850	7,785,410	17,055,260	9,793,300	7,790,050	17,583,350	-528,090

・減免利用料

2023年度減免利用料額			2022年度減免利用料額			差引増(-)減額
施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計	
8,281,000	6,209,700	14,490,700				単位：円
9,826,200	7,261,200	17,087,400	-1,545,200	-1,051,500	-2,596,700	

(イ) 施設別利用状況

2023年度 開館日数 333日	施設名	利用日数	利用率	利用件数	市内	市外	利用者数
		ホール	231 日	79.4 %	269 件	247 件	22 件
	スタジオ	241	74.8	321	273	48	9,224
	音楽練習室	275	83.6	372	344	28	6,378
	アトリエ	276	82.9	369	365	4	3,293
	ギャラリー	93	29.6	93	93	0	4,475
	エントランス	20	5.7	9	9	0	1,686
	計			1,433	1,331	102	52,767
2022年度 開館日数 333日	施設名	利用日数	利用率	利用件数	市内	市外	利用者数
	ホール	259 日	87.8 %	296 件	275 件	21 件	25,793 人
	スタジオ	249	77.6	325	282	43	7,272
	音楽練習室	293	88.3	436	400	36	5,477
	アトリエ	232	70.3	287	278	9	2,635
	ギャラリー	128	42.2	128	116	12	6,731
	エントランス	32	9.6	32	32	0	915
	計			1,504	1,383	121	48,823



市民芸術小ホール利用状況

<2023年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2023年 4月	16	19	17	19	16	5	19	17	8	20	16	14	10	
2023年 5月	23	22	15	10	12	6	15	16	10	22	17	13	21	
2023年 6月	11	11	9	14	11	10	20	15	12	21	20	5	8	
2023年 7月	14	11	9	19	19	11	20	18	10	23	15	9	3	
2023年 8月	17	14	7	19	18	5	20	13	7	20	11	4	1	
2023年 9月	17	23	24	17	17	12	18	18	13	24	25	19	5	
2023年 10月	20	22	22	21	17	10	16	19	11	22	19	6	12	
2023年 11月	20	19	19	25	20	18	20	19	17	22	18	12	15	
2023年 12月	10	12	14	15	15	9	13	13	4	15	11	5	3	
2024年 1月	17	18	15	14	15	10	17	17	10	18	13	3	4	
2024年 2月	19	19	14	15	15	12	19	18	11	17	15	6	5	
2024年 3月	17	17	15	21	20	15	18	18	13	19	14	8	6	
合 計	201	207	180	209	195	123	215	201	126	243	194	104	93	0

<2022年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2022年 4月	19	19	18	20	18	17	17	16	20	26	27	22	24	2
2022年 5月	16	17	13	17	14	9	20	16	18	14	10	6	12	1
2022年 6月	13	22	17	17	14	11	18	14	9	14	10	6	8	2
2022年 7月	17	21	19	17	18	15	22	18	14	15	10	6	1	2
2022年 8月	19	21	18	14	17	8	22	15	13	11	6	2	5	2
2022年 9月	21	23	21	17	18	8	24	13	14	15	9	7	7	3
2022年 10月	18	18	19	17	17	12	24	20	13	18	14	8	16	3
2022年 11月	20	22	20	23	21	16	23	24	19	16	13	8	16	3
2022年 12月	18	19	19	17	14	13	22	20	13	16	10	6	6	2
2023年 1月	17	15	15	17	12	11	22	18	14	13	6	2	6	3
2023年 2月	17	17	13	15	12	12	21	19	16	16	10	10	13	7
2023年 3月	19	20	17	22	22	14	20	17	12	23	11	10	14	2
合 計	214	234	209	213	197	146	255	210	175	197	136	93	128	32

(2) 国上市古民家を含む郷土文化館の利用状況

(ア) 施設・設備利用料収入

単位：円

年 度	利用料収入額			減免利用料		
	施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
2023年度	1,016,300	96,500	1,112,800	1,284,500	34,500	1,319,000
2022年度	1,061,800	98,500	1,160,300	1,176,300	29,500	1,205,800
増(－)減	-45,500	-2,000	-47,500	108,200	5,000	113,200

※2022年度はコロナ対応での施設利用人数の制限や、研修室1、2の結合運用の影響が多少あり

※2023年度は、5月以降利用制限を撤廃。コロナ前の状態に戻ってきている

(イ) 施設別利用状況

単位：件

施設名	年 度	利用時間帯別利用件数(年間 336日)														
		午前			午後			夜間			全日			合計		
		有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
講 堂	2023年度	130	27	157	215	18	233	101	4	105	0	0	0	446	49	495
	2022年度	168	32	200	195	22	217	121	9	130	0	0	0	484	63	547
研修室1	2023年度	2	61	63	66	55	121	2	6	8	0	0	0	70	122	192
	2022年度	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
研修室2	2023年度	128	46	174	159	32	191	0	4	4	0	0	0	287	82	369
	2022年度	129	59	188	203	53	256	10	6	16	0	0	0	342	118	460
特別展示室	2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	126	0	126	126
	2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	136	0	136	136
合 計	2023年度	260	134	394	440	105	545	103	14	117	0	126	126	803	379	1,182
	2022年度	297	91	388	399	75	474	131	15	146	0	136	136	827	317	1,144

※2022年度はコロナ対応での施設利用人数の制限や、研修室1、2の結合運用の影響あり

※2023年度は、5月以降利用制限を撤廃。コロナ前の状態に戻ってきている

(ウ) 付属設備利用状況

単位：件

年 度	ビデオ映写装置			移動展示ケース			スライド映写機			16ミリ映写機			OHP			陶芸用電気釜			合 計		
	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
2023年度	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	6	22	17	6	23
2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	5	22	17	5	22

(エ) 事業収入等状況

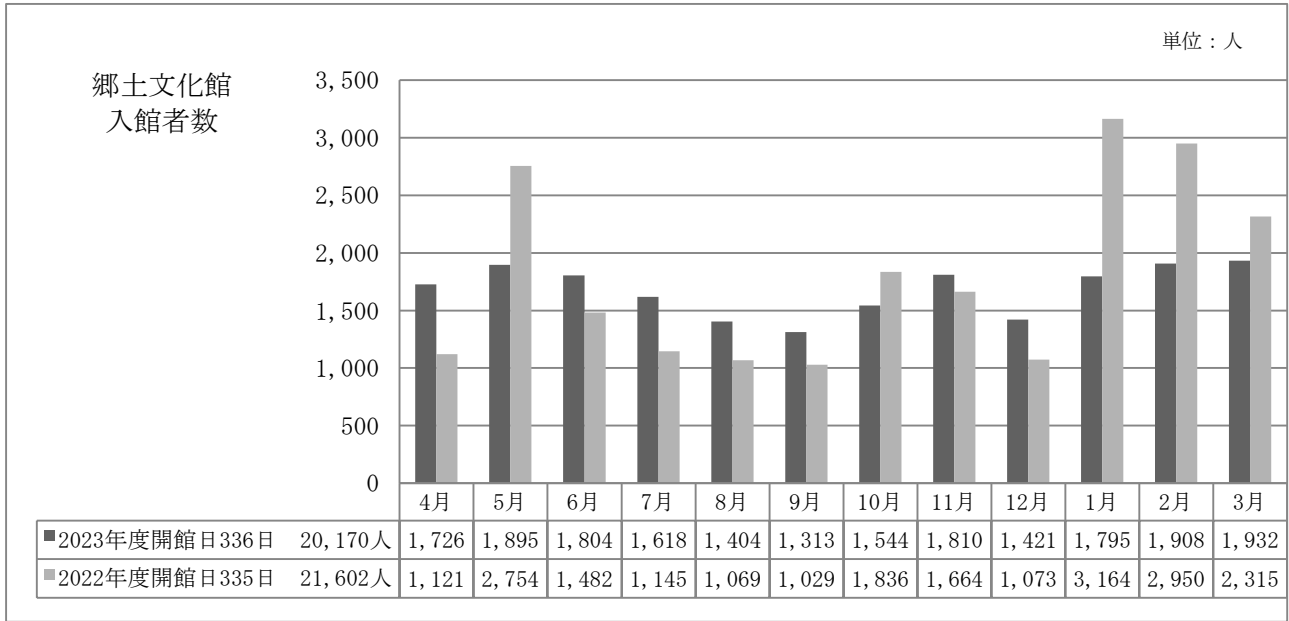
年 度	入館者(人)			事業収入等(円)					事業参加者(人)		
	郷土文化館	古民家	合 計	入場料	参加費	図録売上	その他	合 計	有 料	無 料	合 計
2023年度	20,170	7,995	28,165	0	155,600	552,300	25,040	732,940	329	14,987	15,316
2022年度	21,602	10,026	31,628	0	141,800	520,000	23,530	685,330	389	19,577	19,966
増(－)減	-1,432	-2,031	-3,463	0	13,800	32,300	1,510	47,610	-60	-4,590	-4,650

※2022年度は「駅からハイキング」、「くにたちウォーキング」などが集客に寄与

※2023年1月からスタートしたマンホールカード配布は、全国区で大きく集客に寄与

(特に2023年1～2月は、配布開始のため多数来場)

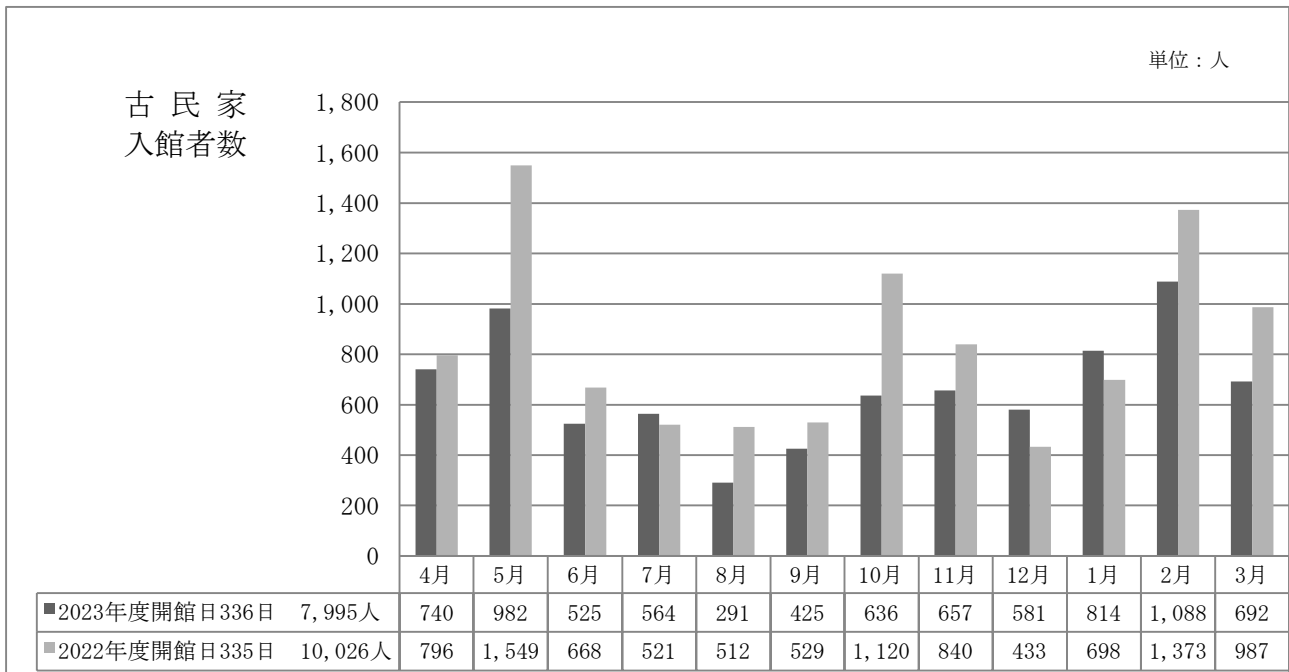
※事業参加者(無料)の減は、2022年度にJR東日本とタイアップしたパネル展などを実施したため



※2022年度は「駅からハイキング」（5月）、「くにたちウォーキング」（10月）などが集客に寄与

※2023年1月からスタートしたマンホールカード配布は、全国区で大きく集客に寄与

（特に2023年1～2月は、配布開始のため多数来場）



※2022年度は「駅からハイキング」（5月）、「くにたちウォーキング」（10月）などが集客に寄与

※2023年度は大きなイベントなどが無く、集客数が伸び悩み

(3) 市民総合体育館の利用状況 (開館日数: 333日)

5/10～6/2は第一会議室及び第二会議室が新型コロナワクチン接種事務で使用したため使用中止。

9/20～10/10は第三体育室が新型コロナワクチン接種会場のため使用中止。

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			減免利用料			
	個人	団体貸切	合計	減免	グリーンパス等	特保	合計
2023年度	22,242,100	7,897,090	30,139,190	1,055,400	5,308,250	159,950	6,523,600
2022年度	19,614,140	11,633,895	31,248,035	1,678,300	4,333,300	126,900	6,138,500
増減	2,627,960	-3,736,805	-1,108,845	-622,900	974,950	33,050	385,100

イ 個人利用の状況

単位:人

	第一、二、三体育室			室内プール			
	個人	グリーンパス等	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2023年度	20,423	3,225	23,648	18,297	8,964	86	27,347
2022年度	15,263	2,580	17,843	18,693	7,834	26	26,553
増減	5,160	645	5,805	-396	1,130	60	794

	トレーニング室				合計			
	個人	グリーンパス等	特保	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2023年度	21,811	17,421	427	39,659	60,531	29,610	513	90,654
2022年度	20,006	14,448	405	34,859	53,962	24,862	431	79,255
増減	1,805	2,973	22	4,800	6,569	4,748	82	11,399

ウ 団体貸切利用の状況

単位:(団体数)団体、(人数)人

	第一～三体育室		室内プール		会議室		ステージ
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
2023年度	2,474	45,225	563	11,057	835	6,069	20
2022年度	2,194	39,188	542	11,711	375	5,585	15
増減	280	6,037	21	-654	460	484	5

単位:(団体数)団体、(人数)人

	合計	
	団体数	人数
2023年度	3,892	62,351
2022年度	3,126	56,484
増減	766	5,867

総利用者数 単位:人

個人利用+団体貸切+保育室	
2023年度	154,759
2022年度	137,088
増(-)減	17,671

エ その他 保育室利用状況

保育室	利用件数	人数
	549件	1,754人

駐車場利用状況(届け出台数)

駐車場	利用台数	1日平均
	20,510台	61.6台

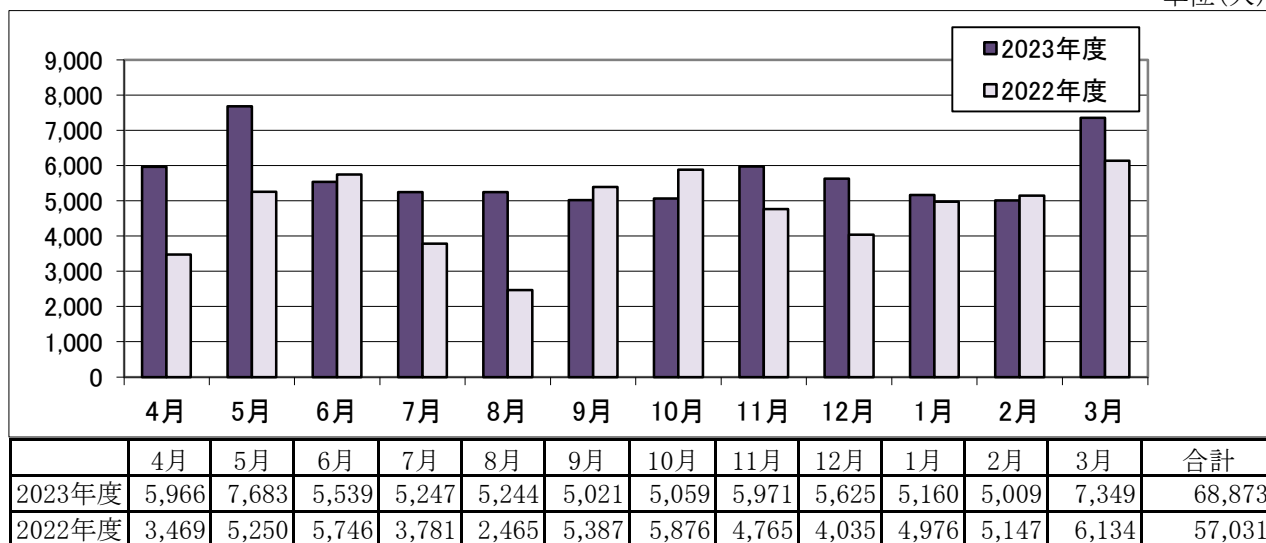
オ くになち南市民プラザ:トレーニング室利用状況

(開館日数: 208日)

	個人利用料 収入額(円)	減免利用料(円)				利用人数(人)				
		グリーンパス	特保	無料券	合計	個人	グリーンパス	特保	無料券	合計
2023年度	1,025,370	426,900	8,400	45,900	481,200	2,116	2,846	28	153	5,143
2022年度	798,450	407,700	1,200	59,700	468,600	1,636	2,718	4	199	4,557
増減	226,920	19,200	7,200	-13,800	12,600	480	128	24	-46	586

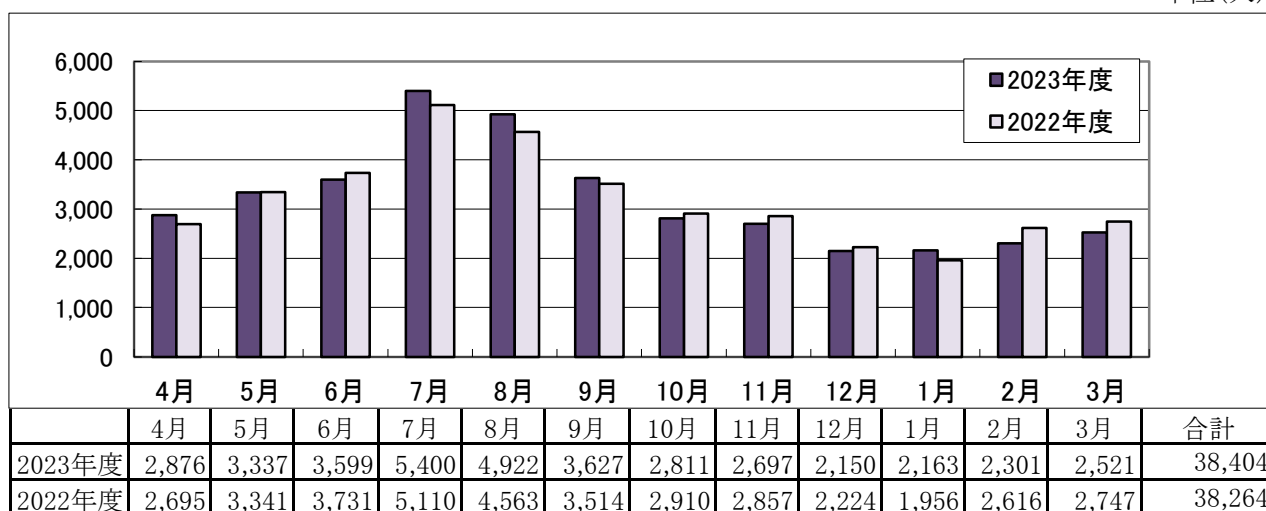
カ 第一、二、三体育室月別利用状況

単位(人)



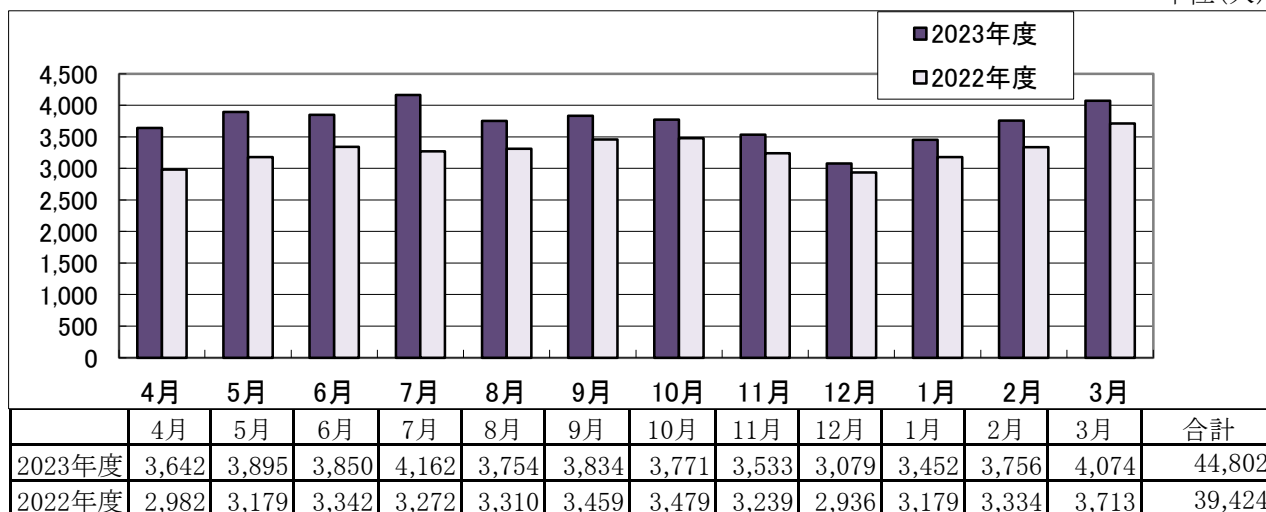
キ 室内プール月別利用状況

単位(人)



ク トレーニング室月別利用状況(くにたち南市民プラザを含む)

単位(人)



(4) 有料公園施設等の利用状況

ア 利用料収入 単位:円

	利用料収入額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2023年度	15,463,600	1,443,975	319,800	17,227,375
2022年度	17,102,350	1,345,500	334,100	18,781,950

減免利用料 単位:円

	減免利用額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2023年度	565,600	2,702,375	581,100	3,849,075
2022年度	463,800	2,643,875	578,500	3,686,175

イ テニスコートの利用状況 単位:1面1時間

	テニスコート			
	谷保	矢川	広場	合計
2023年度	7,386	7,937	9,964	25,287
2022年度	8,260	7,884	10,907	27,051

テニスコートの利用率 単位:1面1時間

	テニスコート利用率			
	谷保	矢川	広場	平均
2023年度	74.70%	72.19%	58.49%	68.46%
2022年度	76.91%	71.99%	63.42%	70.77%

ウ 野球・サッカーの利用状況 単位:1面1時間

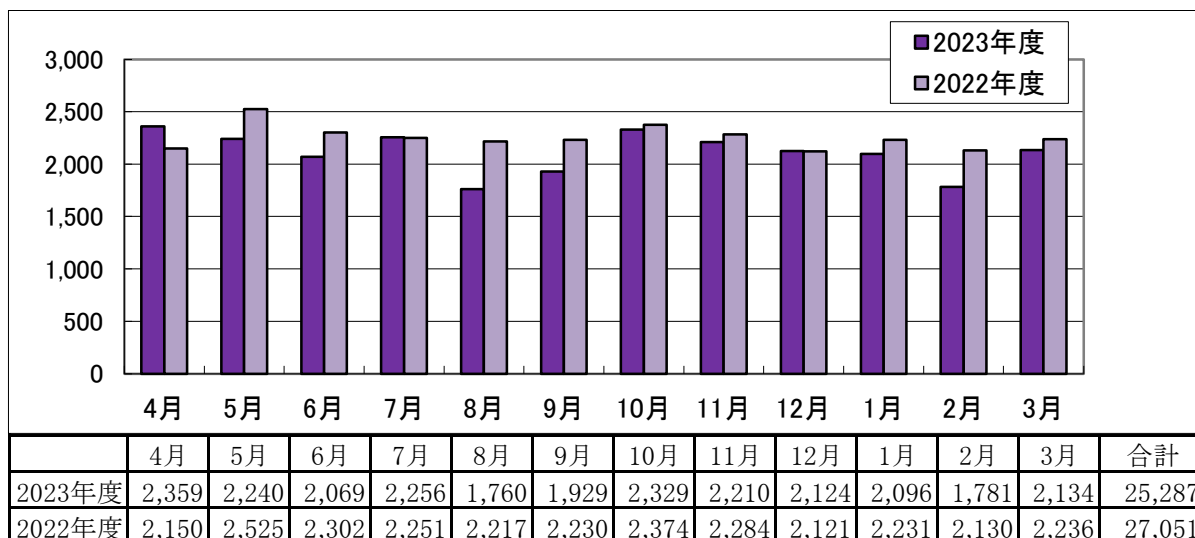
	野球場				サッカー	合計
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	小計		
2023年度	2,500	3,436	1,368	7,304	1,706	9,010
2022年度	2,240	3,335	1,456	7,031	1,730	8,761

野球・サッカーの利用率 単位:1面1時間

	野球場利用率				サッカー場利用率	平均
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	平均		
2023年度	68.27%	47.26%	46.61%	54.05%	46.66%	52.20%
2022年度	65.79%	46.08%	50.03%	53.97%	47.46%	52.34%

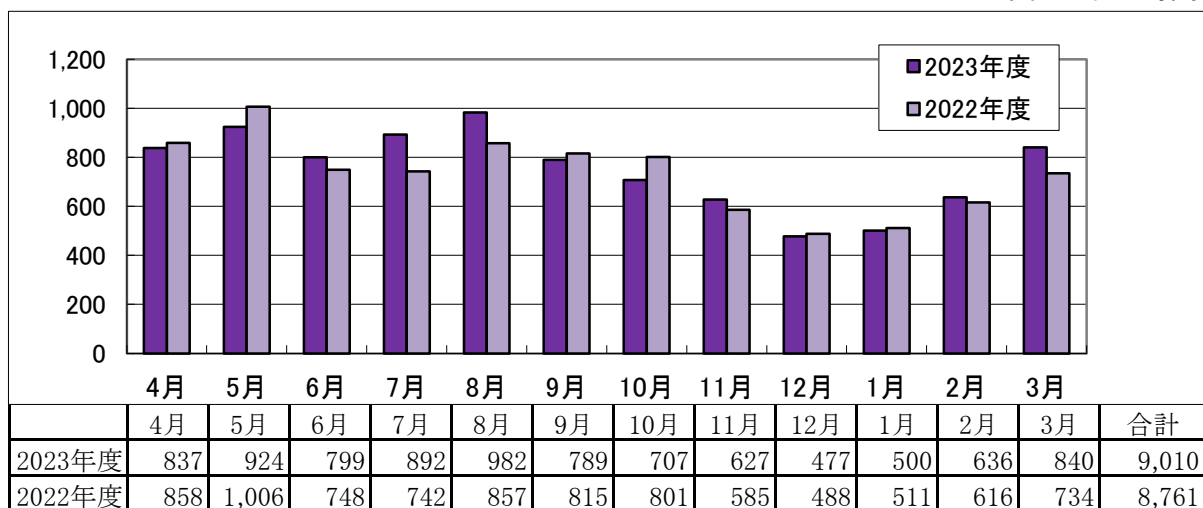
エ 谷保・矢川・広場テニスコート月別利用状況

単位：1面1時間



オ 野球・サッカー月別利用状況

単位：1面1時間



3. 管 理

(1) 役員及び役員会等に関する事業

ア. 理事、監事及び評議員等の名簿

(ア) 理事

(2024年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理 事 長	竹内光博	2023年5月31日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市副市長
常務理事	高橋一成	〃	常 勤	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団事務局長
理 事	池田良二	〃	非常勤	武蔵野美術大学名誉教授
〃	梅本 実	〃	〃	国立音楽大学学長
〃	金子一秀	〃	〃	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学長
〃	近藤佳子	〃	〃	国立の自然と文化を守る会副会長
〃	槇本祐幸	〃	〃	国立市教育委員会教育部長
〃	峰岸秀征	〃	〃	国立市体育協会会長

(イ) 監事

(2024年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
監 事	木村淳二	2023年5月31日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	税理士
〃	佐藤収一	〃	〃	会社会長

(ウ)評議員

(2024年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	宇治 康	2023年5月31日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	たましん地域文化財団常務理事
〃	尾崎 良一	〃	〃	国立市体育協会理事長
〃	笠間 信也	〃	〃	NPO国立市動物調査会理事
〃	佐伯 安子	〃	〃	くにたちの暮らしを記録する会 会長
〃	坂 なつこ	〃	〃	国立大学法人一橋大学大学院 社会学研究科教授
〃	塩野 啓子	〃	〃	塩野啓子バレエスタジオ代表
〃	松井 憲太郎	〃	〃	キラリ財団マネージャー
〃	和田 哲	〃	〃	国立市文化財保護審議会委員
〃	遠藤 泰典	2023年10月27日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	〃	国立三中OB吹奏楽団副団長

イ. 理事会等の開催

(ア)理事会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2023年5月15日	第1号議案 定時評議員会の招集案 第2号議案 2022年度事業報告案 第3号議案 2022年度決算案 第4号議案 理事候補者案 第5号議案 監事候補者案 第6号議案 評議員候補者案	可決 可決 可決 可決 可決 可決
2023年5月31日	第7号議案 代表理事及び常務理事候補者案	可決
2023年10月13日	第8号議案 臨時評議員会の招集案 第9号議案 評議員候補者案	可決 可決
2024年2月16日	第10号議案 臨時評議員会の招集案 第11号議案 2024年度事業計画書案 第12号議案 2024年度収支予算書案と資金調達及び 設備投資の見込みを記載した書類案	可決 可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2023年10月13日	協議事項① 2024年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2023年5月15日	報告事項① 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項② 寄附金等特定資産の運用の状況について	
2023年10月13日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	
2024年2月16日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 給与に関する要綱の一部改正について	

(イ) 評議員会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2023年5月31日	第1号議案 2022年度決算案 第2号議案 理事の候補者案 第3号議案 監事の候補者案 第4号議案 評議員の候補者案	可決 可決 可決 可決
2023年10月27日	第5号議案 評議員候補者案	可決
2023年2月26日	第6号議案 2024年度事業計画案 第7号議案 2024年度収支予算案と資金調達及び 設備投資の見込みを記載した書類案	可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2023年10月27日	協議事項① 2024年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2023年5月31日	報告事項① 2022年度事業報告 報告事項② 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項③ 寄附金等特定資産の運用状況について	
2023年10月27日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	

2024年2月26日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 給与に関する要綱の一部改正について	
------------	---	--

※その他の報告事項は含みません。

(ウ)監査

開催年月日	監査事項
2023年5月8日 決算監査	2022年度決算書 2022年度事業報告書
2023年11月8日 中間監査	2022年度収支決算書(上半期分) 2022年度事業報告書(上半期分)